日本数学会　中国四国支部　評議員資料の取り扱いについて（案）　　２０１６年１月

[I]　過去の資料の保存状況

　昭和４２年度～平成２６年度の資料が残されている。ただし、平成１９年度、平成２０年度、平成２２年度の３年分はホームページにある資料のみ。全部合わせて、段ボール箱２箱分程度の分量。

[II]　年度毎にホームページに公開保存する記録

・　各年度の支部会プログラム

・　各年度の支部総会の資料

・　各年度の評議員名、代議員名（予定者含む）の追加

・　その他、評議員が必要と判断したもの

[III]　過去の記録の保管方法

・　直近３年分の資料は、広島大学の評議員が保管する。

・　それより前の資料は、広島大学理学部数学教室内の一定の場所に保管する。

・　[II] にあるデータ類については、ホームページのトラブルに備えるため、物理的なかたちでも保管する。領収書類のコピーも保存する。個人情報に関わるデータは評議員引き継ぎの際削除し、資料として残さない。

[IV]　昭和４２年度以降の支部例会プログラムをホームページに掲載

学生のバイトを雇い、未入力の年度のプログラムをホームページに掲載する。その費用は中国四国支部会から日本数学会に請求する。

※　参考

　　入力済の年度：昭和５７年度～平成２６年度（平成２年度を除く）

　　　　　　　　　昭和２１、２２、２５、３４、３７、３９年度（講演者氏名のみの

年度もある）

　　これから入力する年度：昭和４２年度～昭和５６年度、平成２年度

中国・四国支部ホームページのURL：<http://www.math.sci.hiroshima-u.ac.jp/csm/>